

三次市教育委員会会議録

1 日 時 令和元年8月27日(火)

開会 午前 10時00分

閉会 午後 3時00分

2 会 場 みよしまちづくりセンター 1階 会議室

3 出席委員 教 育 長 松 村 智 由

委 員 小 根 森 直 子

委 員 藤 原 博 巳

委 員 深 水 顕 真

委 員 井 岡 直 美

4 出席職員 教育委員会事務局付課長 赤 木 実

教育委員会事務局付課長 廣 瀬 恭 子

5 参 考 人 三次市教科用図書採択地区選定委員会

6 議事日程

(1) 議案第21号 令和2年度使用小学校用教科用図書の採択について(非公開)

(2) 議案第22号 令和2年度使用中学校用教科用図書の採択について(非公開)

(3) 議案第23号 令和2年度使用特別支援学級の教科用図書の採択について(非公開)

教育委員会事務局付課長 ただいまから教育委員会会議を開会する。教育長に挨拶をお願いします。

松村教育長 一挨拶一

教育委員会事務局付課長 教育長に進行をお願いします。

松村教育長 これから議事に移るが、本日の議題のうち、議案第21号から第23号については教科書採択に係る案件のため、公開になじまないものと判断する。ついては三次市教育委員会会議規則第16条第1項により非公開にしたいと思うので皆さんにお諮りする。異議はないか。

委員一同 一異議なし一

松村教育長 それでは、議案第21号から第23号については非公開とする。

松村教育長 それでは事務局からの説明を求める。

教育委員会事務局付課長 それでは、まず、議案第21号及び議案第22号についてこれからご審議
いただく。これは、令和2年度に三次市内の小・中学校で使用する教科用
図書について、選定委員からの答申を受けて審議し、採択するものである。
選定委員会は、「三次市教科用図書採択地区の採択事務に関する規約」に
基づき、調査員による教科書の専門的な調査研究を基に種目ごとに審議を
行い、その結果について理由を付して答申を行う。これを受け、適正かつ
公正な採択を行うものである。審議に入る前に、三次市教科用図書採択地
区選定委員会の会長から、令和元年度三次市教科用図書採択地区の教科用
図書の採択に係る意見についての答申書を教育長に手交していただく。

<選定委員会会長から松村教育長に手交>

松村教育長 それでは、令和2年度使用三次市教科用図書採択地区教科書の採択につ
いて選定委員会会長から経過報告の説明をお願いする。

選定委員会会長 一経過報告一

資料1をご覧いただきたい。5月13日に教育委員会会議で「令和2年度
に義務教育諸学校で使用する教科用図書の三次市採択基本方針」が決定さ
れ、6月13日に三次市教科用図書採択地区選定委員会の選定委員に委嘱
された。同日以下のような中身で会議を行った。6月14日から6月28
日まで、三次市立図書館で展示会を行った。三次市教科用図書採択地区の
調査員は、小学校が7月19日、中学校が8月1日を期限として調査研究
を行い、調査報告書を提出した。第2回、第3回選定委員会において、調
査員代表から調査研究結果の報告を受けた。選定委員会では、研究報告を
もとに審議し答申を作成した。そして、先ほど、答申を教育長にお渡しし
た。今後の流れとしては、採択結果について三次市教育委員会から広島県
教育委員会へ報告が行われる。また、各学校等に採択結果を通知されるこ
ととなっている。

松村教育長 続けて答申説明をお願いします。

選定委員会会長 広島県教育委員会が作成した選定資料をご覧ください。1 ページに5 点の観点が示されている。観点1 「基礎・基本の定着」、観点2 「主体的に学習に取り組む工夫」、観点3 「内容の構成・配列・分量」、観点4 「内容の表現・表記」、観点5 「言語活動の充実」について、選定委員会において審議し、三次市においても、この5 つの観点に沿って調査を行うこととなった。調査員の調査報告を受け選定委員会で協議し、本日結果を答申させていただいている。中学校の教科用図書においては、平成28 年度使用教科用図書からの4 年周期の採択ということになるが、平成30 年度検定において新たに合格した図書がなかったため、基本的には前回の平成26 年度検定合格図書の中から採択を行うことになっている。したがって、平成28 年度から三次市で使用してきた教科用図書が適切であるかという視点での答申となっている。そのため、教科用図書調査のため、見本本の送付を依頼したが、送付されなかった発行者もあり、その発行者については、答申でも斜線を引いている。今回の選定においては、三次市の児童生徒の実態、課題に応じた教科書はどれであるかということを大前提にして審議を進めた。

これより、各教科について説明をさせていただく。答申のポイントとして3 点ある。1 点目は、三次市の子どもの実態にあった教科書であるかどうかという点である。三次市の実態として、学力の状況が2 極化の傾向にあり、個人差への対応が必要である。学力が定着しにくい子どもに対する基礎・基本の定着、学力をさらに伸ばす取組として発展的な問題の掲載等があるか。主体的に学ぶ子どもの育成に向け、「やってみたい」と思える写真や課題提示があるか、自主学習などが進んで行える工夫があるか。若手教員が増える中、若手、ベテラン教員にとって課題発見・解決学習が行いやすいか。そのような視点を大切にされた教科書であるかという点である。2 点目は、新学習指導要領で求められていることに沿った教科書であるか。

新学習指導要領では、資質・能力の育成のために、各教科等の目標を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力」の3つの柱で整理された。その3つの力を育成できる教科書であるか。また、各教科の見方・考え方が明示されているか。3点目は、三次市の施策と合っているか。例えば、「三次市子どもの未来応援宣言」との兼ね合いはどうか。ICT機器の効果的な活用ができるものであるか。今回QRコードが付いている教科書が多くあった。また、一人ひとりのニーズに応じた指導ができるものであるか。グローバル社会への対応、小学校1年生からのスタートカリキュラムへの対応、さらに中学校との小中接続は意識されているかといった点である。この3つの視点で検討した。

松村教育長 それでは、議案第21号、令和2年度使用小学校教科用図書採択について、各教科について、採択を行っていく。まず、国語・書写から行う。

選定委員 一 国語・書写の説明一

小根森委員 書写は、QRコードがあるという説明があったが、国語はどうか。

選定委員 国語もある。例えば、話し合いの場面であり、話し合いの様子を動画で見ることができる。

小根森委員 A者だけか。

選定委員 B者にもある。概ね、どこの発行者にもある。

小根森委員 これだけの教科書の中から、この2者を選ばれたと思うが、この2者が他と比べてよかった点を伺いたい。

選定委員 最初の選定委員会会長の説明にあったように、学力が定着しにくい子どもに学力を付けるにはどの教科書が適しているかという点で全教科書を比べた。5つの観点に沿って、より分かりやすく示されていたのがこの2者である。三次市立図書館での展示会における市民アンケートの中に、「長年、同じ発行者のものを使っている」という意見があった。国語において長年使用しているが、子どもたちを指導する際、教科書は変わらないが、よい教科書を使い、子どもたちにきちんと教えることが必要であると選定

委員会で審議した。

小根森委員 古典の取り上げ方を見たらF者が分かりやすいと思った。写真で情景を見ながら理解させるといった部分など。学習も「確かめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」と流れが分かりやすい。

選定委員 A者は「たいせつ」や「ふりかえろう」で、新学習指導要領の3つの資質・能力の視点が押さえてあり、学びをチェックできる工夫もあり、若手教員も同じような流れで学習を展開することができる。

小根森委員 6年生の教科書が1冊になっているため、重たいのではないか。

選定委員 学校に置いておく教科書もある。

松村教育長 保護者から学校へ置かせておいてほしいという声もある。

小根森委員 国語の教科書は持ち帰らせ、声を出して読ませたい。

松村教育長 宿題に出している時は、もちろん持ち帰らせている。ページ数はどうか。発行者によって違いはあるか。

選定委員 差はほとんどない。教材の量においても差はない。

松村教育長 学力が気になる子どもにふさわしいからと言って、ページ数が増えているのであれば逆にストレスになると思うが。その辺りがうまく構成されているのであれば、問題はないと思う。

選定委員 B者は本をたくさん紹介してあるところがいい。たくさんあり過ぎても選べない。読書は力を入れたいところである。

深水委員 QRコードがあるのは確かにいいが、これをどう使っていくかというところが大事である。

選定委員 QRコードを用いて、学校などで話し合いの仕方を学ぶこともできるし、家でも保護者と一緒に見ることができる。

小根森委員 電子黒板にも映せる。書写は確かにA者がよい。

選定委員 国語と同じ発行者でなければいけないということはないが、書写もA者が扱いやすい。

深水委員 QRコードを読み込んだら出てきた。

松村教育長 動いているか。

深 水 委 員 動いている。

小根森委員 全ての教科書にQRコードがあるのか。これからは、そこまで見て審査しなければいけない。

松村教育長 これからは、リンク先で何が起きているかが分かるように教科用図書も工夫しないとイケない。

深 水 委 員 動画にも検定が入っているか。

選 定 委 員 動画にも検定は入っている。

小根森委員 電子化が進み、教科書が薄くなってQRコードばかりになるかもしれない。

松村教育長 鞆の中はタブレットだけになるかもしれない。

松村教育長 では、国語と書写については、選定されたものがA者とB者である。委員の皆様いかがか。子どもたちに使いやすい、理解をさせていく上でも幅広い子たちに合うようなつくりであるという面で、A者を採択するというところでよろしいか。

委 員 一 同 ー承認ー

松村教育長 続いて社会・地図の説明をお願いします。

選 定 委 員 ー社会・地図の説明ー

松村教育長 地図はC者の方が見えやすい。色が薄く、文字が見えやすい。

小根森委員 C者のように色が薄くても十分高さとかも分かるのか。

選 定 委 員 B者は高さが細かく、6段階程度になっている。C者は3段階である。

小根森委員 特に社会はB者がよかった。学習を自学的にできる。最後の子ども同士の話し合いの論点もあり、すごく考える社会だと思う。

選 定 委 員 選定委員会でも、工夫された教科書だと話になった。

小根森委員 歴史の教科書にも地図があり、室町時代でいえばこの辺と分かる。6年生の教科書が2冊に分かれているのも分かりやすい。

選 定 委 員 現在の6年生の教科書はかなり重たい。2冊に分かれたというのは大変

使いやすいと選定委員会議でも話になった。

松村教育長 将来、中学校や高等学校につながるというところでも、6年生が分野別に2冊に分かれた教科書を持つというのはよい。

松村教育長 委員の中からもB者がよいのご意見を頂いた。社会科の教科用図書は、B者を採択するというところでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 地図帳は、B者は、教科用図書の単元の後に付いているようなつくりになっている。それに比べると、C者の方が地図帳らしい。使い勝手もいいし、見えやすく、探しやすいものになっている。情報が多すぎたり色合いが優しくなかったりすると、見ても難しいという児童もいる。

小根森委員 地図に関しては、社会情勢が変わり、ほとんど地図を見ない生活になった。ICTに対応した地図の学習がこれからは考えられていくのではないかと思う。C者は昔ながらの地図であり、これを学習していくことも大切なことである。

深水委員 QRコードもしっかりある。

松村教育長 それでは、地図はC者を採択するというところでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 次に算数の説明をお願いします。

選定委員 ー算数の説明ー

松村教育長 今、教科用図書で大切なことはユニバーサルデザインである。読みやすい、そして見えやすい。それが理解につながる。1年生を見て、6年生をいきなり見ると、すごく難しく感じる。

小根森委員 B者はスターティングが丁寧ですばらしい。螺旋状に進んでいくというのがよい。

選定委員 スタートカリキュラムはB者がよくできていた。

松村教育長 スタートカリキュラムは生活科に連動していくものなのか。

選定委員 生活科が中心である。3年生以上の社会科や理科に繋がる。

小根森委員 すんなり算数に入っていける。

松村教育長 算数科の教科用図書は、B者で説明をいただいたように、保育所、幼稚園からの学びのつなぎというところで、スタートカリキュラムに対する工夫があること。さらに学びを振り返り、また前単元や全学年へも戻り勉強の学び直しができるというところでは、深水委員がいつもおっしゃるように、さらに自分で挑戦して、上位の課題にチャレンジしていくこともできるつくりになっている。いい形の教科用図書ができあがっている。指導者の力も付けていきたい。

算数については、B者を採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 理科について説明をお願いします。

選定委員 ー理科の説明ー

小根森委員 三次市の子どもは言葉で説明することが苦手という話があったが、それに関してはどうか。

選定委員 学習したことをまとめるような場面において、実験結果を言葉で表現したり、学習したことを活かしながら説明したりするという工夫がある。

小根森委員 こういう風に表現したらよいといった手本についてはどうか。

選定委員 ノートの手本としては、単元ごとによい例が掲載されているが、別にまとめ方を示したところがあり、参考にしながら表現していくこともできる。また、指導者もノート例に基づいて展開を行う構成にもなっている。話し合いの場も意図的に仕組んである。

松村教育長 サンプルになっている。各単元末に記載がある。

選定委員 このページにあるように子どもたちが登場し、このような視点で考えをつないでいけばいいということを分かりやすく示している。B者もあるが、多すぎて、子どもの混乱を招く。

松村教育長 D者は改良されてきている。

小根森委員 日本人は説明するのが下手である。説明する力を小学校からしっかり身

に付けるようにしてほしい。

松村教育長 論理的な思考力、明確に理由をもって端的に説明する力が大切である。

選定委員 プログラミング教育が導入されたのもこのような意図からである。

松村教育長 全教科書の中で、D者がまとめた形がとれている。実験に関わってもその都度、危険で注意すべき点が示されており、器具の使い方についてもポイントがまとめてあるだけでなく、詳しく本文にも記載されている。

理科については、D者を採択するというところでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 生活について説明をお願いします。

選定委員 ー生活の説明ー

小根森委員 生活（上）の字だが、子どもたちは読めるのか。

選定委員 子どもは、絵を見て理解することになる。吹き出しとして字を入れているのは、指導者を意識しているためである。子どもたちの具体的な姿が見えやすい。

小根森委員 他の教科書はどうか。

選定委員 K者は、B者で説明したような育て方について、生活（上）にワークシートがあるが、生活（上）の段階でこれほどの記述が記載されているというのは、配慮ができていないとは言えない。

F者では、「満足はしご」として、自分が学習したことの満足度や達成度がどの辺りまでできているかを視覚的に示していて、分かりやすい。

小根森委員 レポートの書き方についてはどうか。

選定委員 ワークシートの形は概ね同じである。配慮ができていのかどうかという点が違う。ワークシートが掲載されているページを比べてみる。こちらのワークシートを見ていただくと、かなり記述がしてあるが、子どもたちの発達の段階からしてこんなには書けない。見本にもならない。

松村教育長 小根森委員もおっしゃられたが、私も文字が小さいのではないかと思います。

選定委員 発達の段階でいえば、この辺りは写真や絵がメインである。

松村教育長 B者も字が小さいが何故か。少なくともこれは1年生。1年生で使うとなるとどうか。

選定委員 読めるという設定ではない。

選定委員 A者で言えば、このページの内容はあまりにも少なすぎる。また、こちらの絵を見ていただくと、目が点のように描いてある。選定委員会の中でも配慮に欠けるという意見があった。

松村教育長 国語への力の入れようと全く違う。

小根森委員 表紙はきれいである。

選定委員 表紙はいいので少し惹かれるが、中身は絵本的な感じである。

小根森委員 中身は荒い感じである。

選定委員 指導者への配慮もない。B者の吹き出しは指導者の評価規準等の参考になるし、子どもたちも気づきを深めるという点でよくできている。吹き出しの中の言葉が「思考力・判断力・表現力」等の三つの柱の視点を入れたものになっている。

松村教育長 逆にそれにとらわれすぎるということはないのか。

選定委員 初めは、子どもは全く字が読めないので、指導者や保護者を意識したつくりになっているといえる。とらわれすぎということはない。評価基準として大変参考になる。

深水委員 ポケット図鑑というネーミングになっているが、ポケットに入らない。

井岡委員 バインダーに入れて校外に持っていくものである。

選定委員 確かにネーミングとしてはよくない。ポケットではない。

深水委員 インターネットで見ることができると書いてある。例えば、25ページに「保護者のみなさまへ」とあるが、どのように見るのか分からない。QRコードもなければ、URLもない。

選定委員 最初のページにまとめて示してある。実際に見ると、項目が出て、目次が出てくる。

深水委員 D者も最初のページに示してある。表紙にQRコードが付いている。

選定委員 教科書によって写真や動画の示し方や内容は全く違う。目次もなくただ並んでいるだけのものもある。先ほども言われていたが、中まで見てみないといけない。大変分かりにくかったり、動画が途中で止まったり、写真が分かりにくかったりといろいろである。

深水委員 それから、もう一つは、改訂がデジタルだと簡単にできる。紙媒体と全く違うので、途中で差し替えても分からない。極端な話、悪い情報があっても、誰もチェックできない。

選定委員 デジタル教科書については、文部科学省は、紙媒体も使いながらデジタル教科書も使用するように示している。デジタル教科書の使用の割合を示している。

小根森委員 デジタル部分は掘り下げたものが入っているのか。

深水委員 発展的なものもあるのか。

選定委員 発展的な内容もある。例えば、この部分は動画なので、保護者と一緒に見ることができるものとなっている。通学路を歩いている子どもたちの様子が出てくる。

小根森委員 学校を休んだ子へ見せるというのではなく、指導者は授業をしながら、補助的に使うものか。

深水委員 履修は絶対ではないということでもいいか。URLの先まで理解するということではないということでもいいか。

選定委員 その通りである。

松村教育長 環境が整っていない人もいる。

松村教育長 教科用図書としては、B者が工夫されているという評価もある。他と比較する中で秀でている部分をみれば、他が劣っている部分かもしれない。子どもも指導者も使いやすい、さらには、観点、評価が明確である。保護者向けにも記載されている。他の教科書は、保護者向けはどうか。

選定委員 保護者の皆様へといったものは他にもあるが、先ほど述べた10の力についてはB者のみである。

松村教育長 生活科はB者を採択することとしてよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 続いて音楽について説明をお願いします。

選定委員 ー音楽の説明ー

松村教育長 現在も合唱、音符の扱いについては、学習指導要領に則ってやっているわけだが、3年生と4年生のところに出てくる違いについて、学習指導要領上ではあるのか。

選定委員 低・中・高のくくりで記載されている。ここでは、読めるという扱いになっているが、なかなかここからが難しい。

松村教育長 楽譜を読めて、最終的には楽譜から音を落としていかなければならないが、その指導のしやすさや子どもとつきやすさという面で見ると、どちらが優れているか。

選定委員 一つひとつの教材のねらいが明確に示され、押さえたいことを押さえて進められる作りになっているので、E者のほうが工夫してあると言える。

松村教育長 E者は工夫して作りこんであるのか。

選定委員 大きさも少し大きく見やすい。ユニバーサルデザインを意識されている。

小根森委員 E者はリコーダーを吹いている子どもを横から写している。F者は、上から見た写真がある。リコーダーについては、F者の方が分かりやすい。他の面では、E者だと思う。

選定委員 リコーダーについては巻末には示してあるが、確かに横からでは子どもには分かりづらい。

小根森委員 E者にも巻末にはあるのか。F者の写真はよい。実際に、自分の指で押さえ、それを上から写している写真がある。一つひとつの音を自分の指の写真で写しているのがいい。

選定委員 上と下が反対になるので、その通りだと思う。

小根森委員 E者は、音楽家の写真が多く掲載されている。親しんでもらいたいと思う。今の子どもたちは、ベートーベンを見ても分からない子もいる。

選定委員 中学校へのつながりというところで、楽典を意識している。

松村教育長 楽譜はE者が見やすい。

松村教育長 音楽はE者を採択ということによろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 保健について説明をお願いします。

選定委員 ー保健の説明ー

松村教育長 個人差についての説明もあったが、最近話題になっている LGBT についての扱いは、小学校用教科用図書にはあったか。

選定委員 特に取り上げているということはない。しかし、発行者によって配慮しているところとそうでないところが見られた。配慮ができていないという部分では、保健以外で気になったものはある。例えば、算数の1年生（上）で、男の子と女の子の差を問う問題があった。あえて、男の子と女の子を選ばせることについて、選定委員会でも議論になった。

小根森委員 パソコンや携帯の人体への影響について、L者にもあったが、どの者にも扱いがあるのか。

選定委員 どの者にもある。

小根森委員 書き込みがしやすいものがよい。

選定委員 どの者も、差はあるが書き込めるようになっている。指導時間が少ない中で、指導者はワークシートを作成することは大変である。課題発見・解決学習の流れの中で、気づきが適切に書き込めるのはよい。

松村教育長 教科書へ書き込むようには初めから設定されているのか。

選定委員 保健についてはそのようになっている。

松村教育長 1行しか書けないものもある。昔は教科書に書き込みをしていなかった。教科書を大切にしていた。

松村教育長 他教科との関連については、誰が意識するように設定されているのか。

選定委員 子ども、指導者のどちらも意識するようになっている。

小根森委員 やはり、書いてあると意識は深まるのか。

選定委員 深まる。今回の教科書は、子どももだが、指導者が教科書を基に課題発見解決型の授業ができる形になっている。だから、このように記載してあると指導者もカリキュラムマネジメントを意識して、他教科等と意図的につなげることができる。

松村教育長 どの教科もそのような傾向があるのか。

選定委員 カリキュラムマネジメントを大切にしている。

小根森委員 人体の写真等についてはどうか。M者はきれいな写真である。

選定委員 M者もきれいである。B者はグラフとかもきれいに写っている。

小根森委員 歯の写真がよい。

選定委員 歯については、B者はカラー写真で分かりやすい。

松村教育長 保健はB者を採択するというところでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 図工について説明をお願いします。

選定委員 ー図工の説明ー

小根森委員 1ページ単元があるという説明があったが、内容が簡単ということか。

選定委員 普通の単元は2ページ(2時間)で行う設定になっているが、低学年では、2時間でなく1時間でできる1ページ単元が多く設定されている。

松村教育長 どのような違いがあるのか詳しく説明していただきたい。

選定委員 スタートカリキュラムでは、45分を半分に分けてやることがある。時間を短くして実施する場合に扱いやすい。目標の示し方については、G者が分かりやすい。題材の中に呼びかけるような形で目標が示されている。鑑賞後に、自分の表現に生かすことができる構成になっているのはH者である。

小根森委員 問いかけはH者がよい。掲載されている作品が、G者は少ないが質がよいと思った。いい作品が掲載されていると思うが、皆さんはどうか。

松村教育長 その通りである。

小根森委員 親しみやすい作品はH者が多い。よい作品を子どもたちに多く見せたい。

- 選定委員 中学校の教科書も見たが、立派な作品が掲載されている。
- 小根森委員 これは見せておきたいという作品も掲載されている。
- 松村教育長 子どもの作品が多く掲載されているのは参考になる。
- 松村教育長 委員の意見では、G者について、上質な作品、親しみやすい作品を掲載し、育てたい資質・能力も明確であるということであった。
- 図工はG者を採択することとしてよろしいか。
- 委員一同 ー承認ー
- 松村教育長 続いて家庭科の説明をお願いします。
- 選定委員 ー家庭の説明ー
- 松村教育長 教科書のサイズが違う。
- 選定委員 B者は、教科書が大きいので写真がとにかく大きい。言語活動の場面も、話し合いを展開していく様子が分かりやすく示されている。学びを活かすところでも、多くの情報も載せている。グラフやデータもB者が多い。
- 松村教育長 レシピ本のようなつくりである。
- 小根森委員 B者はインターネットや消費者センターについても取り上げてある。
- 選定委員 2者とも英語で書いてあるページがある。他教科との関連の中で、家庭科は英語にこだわって記載されている。
- 松村教育長 G者といえば、英語の教科書が専門である。教科書のサイズが違うとこんなに写真のサイズが変わるのか。ここには、右利き用と左利き用の包丁の使い方を示している。
- 選定委員 裁ちばさみについても両方で示してある。
- 松村教育長 包丁もだが、じゃがいもの芽の取り方も左右両方で全て示してある。
- 小根森委員 家庭科は、専科の先生が教えるのではないのか。
- 松村教育長 専科ではなく担任が教える。
- 井岡委員 子どもたちは、玉どめと玉むすびができない。
- 松村教育長 大人になっても、小学校で学んだ裁縫のことは覚えている。
- 井岡委員 その通りである。

松村教育長 B者については、教科書のサイズの大きく、見た目も分かりやすい。左右をそれぞれ意識して両方を見せるという配慮もなされている。

家庭科はB者を採択することとしてよろしいか。

委員一同 —承認—

松村教育長 続いて、英語について説明をお願いします。

選定委員 —英語の説明—

小根森委員 G者は、さすがだと思ったのは、音で聞く違いを支援してあることである。子音を音で聞いてから書き込むようになっているのは大事である。小学校では子音の聞き取りをして耳を慣らしてもらいたい。

深水委員 辞書という概念が面白い。英語はやはり調べないといけない。辞書は個人で持っているのか。補助教材での購入を促すのか。

選定委員 教科書には、絵カードが付いていて対応している。

深水委員 それで完結するということか。小学生でも調べたいこともあるのではないか。

選定委員 本校は今年度の図書費で買った。

小根森委員 小学生用の辞書があるのか。

選定委員 簡単なものがある。子どもたちは、ちょっと辞書を引いてみたいなと思うところはあるようだ。

深水委員 必要になってくる。このような別冊が使えるかどうかは別としてだが。調べるということ。今時はこうやって調べるというよりは、インターネットで調べるのかもしれないが。

小根森委員 しかし、辞書を引くことは大切である。

松村教育長 小学校英語は書かせない、読ませないと言っていた時と比べると、急に変わった。

深水委員 ここまですると中学校ですることがなくなる。

小根森委員 ここまで進んで、また元に戻るということはないのか。

松村教育長 国は中学校卒業時に英検3級相当の力を有することをめざしている。

深水委員 小学校の教科書を完璧におさえれば3級取得できそうだが。

小根森委員 意味があるのか。本当に力が付いていないのに、資格だけ合格しても先々困ると思う。指導者に、くれぐれも、片仮名で発音を表さないようにしていただきたい。母音が入る癖がつく。それだけはやめてほしい。

松村教育長 それは気を付けないといけない。

小根森委員 書くことについては、アルファベットと発音を結びつける力を育てるものだと思う。そんなに単語を覚えるものではないと思う。

松村教育長 聞いたものを聞いたように表記できるかという力があるが。

小根森委員 小さいうちに訓練した方がよい。

松村教育長 片仮名で書いてある教科用図書はないか。

選定委員 ない。

松村教育長 それでは、英語はG者を採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 それでは、道德の説明をお願いします。

選定委員 ー道德の説明ー

松村教育長 各者のいじめについての扱いの頻度や項目数はどうか。

選定委員 項目数に違いはない。しかし、構成の仕方に工夫があるのがH者である。

小根森委員 H者は、教科書の内容とノートがリンクしている。I者は抽象的なテーマである。今、H者を使用しているが、ノートについてはどうか。

選定委員 ノートについては、使いやすいという意見である。

深水委員 大学の先生と話をしたが、ノートが空白であるということは未履修ということになるという話があった。ノートが多すぎたら負担ではないか。

選定委員 教科書についているノートであるため、採択したからにはノートも使っていくことになる。H者のノートについては、使いやすいという意見が多い。それは、自由に絵や図を描くことができるようにマス目の自由欄になっているからである。K者では、自分の考えと友達の考えを必ず書くように設定されていて使いにくい。

小根森委員 H者の自由に書けるところがいいということか。

選定委員 授業だけでなく、普段も、道德とつながりのある学習場面等で記述する欄もあり使いやすい。

松村教育長 道德については、H者を採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 以上で、議案第21号を終了する。続いて、議案第22号、令和2年度使用中学校教科用図書の採択について、各教科について、採択を行っていく。まず、国語・書写から行う。

選定委員 ー国語・書写の説明ー

松村教育長 国語科については、B者も読書の紹介というところでは多くあるが、内容的な部分で生徒に深まりをもたせるとことができるのはA者と説明があった。意見はないか。

委員一同 ー意見なしー

松村教育長 それでは、国語は、継続してA者を採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 書写について意見があるか。実物大が決め手ではないか。

選定委員 書初め等の長い半紙のものもある。どの教科書も実物大があるのかと思えば、案外とそうではない。紙面の関係もあるのかもしれない。

松村教育長 書写については、K者を継続して採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 社会（地理的分野）について説明をお願いします。

選定委員 ー社会（地理的分野）の説明ー

松村教育長 質問や意見はあるか。特にないようである。社会（地理的分野）については、継続してB者を採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 続いて、社会（歴史的分野）について説明をお願いします。

選定委員 ー社会（歴史的分野）の説明ー

松村教育長 中学校の社会の内容は難しい。

選定委員 中学校では、小学校で学んだことを分かっている前提で指導をしているが、実際はそうでもない部分もある。小学校を振り返りながら学習を進めることができるのはよい構成である。

深水委員 情報量がすごい。小学校の教科書も社会科の情報量は多いが、中学校はさらに多い。

井岡委員 おもしろい。この歴史の教科書を読みたくなる。

選定委員 入試に向けて全て学習していくという部分が、対策的にもなっていくが難しい部分である。とりわけ社会科の教員は時間数を意識してやらざるをえないというところがある。いかに、ここの中でポイントを押さえて、家庭学習や自分でやっていくという力を付けるかということが重要になる。連動させないと授業だけで力を付けるのは難しい。

小根森委員 指導者には歴史のおもしろさを教えてほしい。

松村教育長 県立三次中学校も市内で採択されたものと同じ教科書を使用している。先日、県立三次中学校の授業を参観したが、社会科教員の指導の仕方、生徒が自分の意見をよく出し合い、論議することができていた。やり方だと思う。今回採用しているB者は、先ほどもあったように、用語も丁寧に書かれているため、自分で学習しようと思えばできる。前回は、それを踏まえて採択したことを思い出した。

社会（歴史的分野）については、継続してB者を採択するというところでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 続いて、社会（公民的分野）について説明をお願いします。

選定委員 ー社会（公民的分野）の説明ー

松村教育長 選挙については、扱っている量も全く違う。

選定委員 社会科という視点では、やはりこういうところを扱っているのがいい。

114ページに模擬投票がある。X氏の市長選挙に立候補しよう等も扱っ

ている。

松村教育長 振り返り等も小学校の学習を振り返るのはよい。中身的には、レポートの書き方等、細かく生徒に分かるように編集してある。

深 水 委 員 巻末に法律の抜き書きがあるが、発行者によって少しずつ違う。民法があったり、財産法が一章入っていたりする。

松村教育長 社会（公民的分野）については、継続してB者を採択するというところでよろしいか。

委 員 一 同 一承認一

松村教育長 続いて、地図について説明をお願いします。

選 定 委 員 一地図の説明一

松村教育長 特に質問等がなければ、地図については継続してC者を採択するというところでよろしいか。

委 員 一 同 一承認一

松村教育長 数学について説明をお願いします。

選 定 委 員 一数学の説明一

松村教育長 授業の展開がノート指導に繋がる点、考えを深めていく学び合いのページがある点など工夫がある。

数学については、B者を継続使用として採択するというところでよろしいか。

委 員 一 同 一承認一

松村教育長 理科について説明をお願いします。

選 定 委 員 一理科の説明一

松村教育長 改めてマイノートのよさを感じた。単純に中学校の得意な教え込みにならず、家庭学習につながるというところがよい。

小根森委員 充実している。マイノートのようなノートがあるのはD者だけか。

松村教育長 D者だけである。

選 定 委 員 実際にあるととてもよい。最初は、これを全部しないといけないのかといった声もあったが。

松村教育長 それでは、理科については継続してD者を採択するということによろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 音楽について説明をお願いします。

選定委員 ー音楽の説明ー

松村教育長 E者は、馴染みやすい曲が多いのか。

選定委員 その通りである。ポップスが多い。子どもたちにとっては馴染みやすいと思う。

小根森委員 中学生は、ポップスがよいと思う。

選定委員 打楽器の扱いもE者の方が多い。

松村教育長 音楽の一般と器楽について、継続してE者を採択するということによろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 美術について説明をお願いします。

選定委員 ー美術の説明ー

松村教育長 特に質問等がなければ、美術については継続してG者を採択するということによろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 技術・家庭（家庭分野）について説明をお願いします。

選定委員 ー技術・家庭（家庭分野）の説明ー

松村教育長 レシピ本になるようなものでなければいけない。

小根森委員 その通りである。

選定委員 答申を見ていただくと、B者は他者と量的にも全く違うことが分かる。版が大きいので、ジャガイモ等も大きく示すことができる。豚肉の生姜焼きの掲載部分で比べると分かりやすい。

松村教育長 前回の採択で、どちらがおいしそうな写真だったか見て選んだのを覚えている。確かに野菜など載っているのも、色やサイズも実物大で分かりや

すい。写真は大事である。

小根森委員 手順も分かりやすい。

選定委員 写真もこちらの教科書が大きい。どちらが作ってみたいと思われるか。

松村教育長 こちらである。

選定委員 こちらが、現在、使用している教科書である。

小根森委員 安心した。

選定委員 食べ物、付け合わせ等についても上手に編集してある。浴衣の畳み方も分かりやすく示してある。帯の結び方まで描いてある。帯の結び方まで描くことができるのは、横が広い分、写真を大きく載せることができるためである。爪もあっていい。メジャーも付いている。評価もできるようになっている。小学校と同じようなつくりになっている。

松村教育長 技術・家庭の家庭分野については、現在使用しているB者を継続して採択するということがよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 保健体育について説明をお願いします。

選定委員 ー保健体育の説明ー

深水委員 これは、3学年で1冊か。

選定委員 3年間で48時間程度を指導することになっている。そのため、3年間で1冊になっている。

松村教育長 前回の採択においても、傷病の手当についても詳しく書かれていて、分かりやすいという意見も出ていた。

松村教育長 保健体育については、J者を継続して採択するということがよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 技術・家庭（技術分野）について説明をお願いします。

選定委員 ー技術・家庭（技術分野）の説明ー

松村教育長 写真が大変分かりやすい。

選定委員 実習例もたくさん掲載されている。

松村教育長 DIY である。

小根森委員 分かりやすい。

松村教育長 B 者は他者と全く違って、分かりやすい。

選定委員 全者を並べてみると掲載の仕方が全く違うことがよく分かる。また、単元末に評価や活用しようというところもあり、何度も自分のことを振り返って書くことができる設定になっている。G 者は、毎単元振り返りがあるわけではない。また、防災手帳が付いているもの B 者だけである。

松村教育長 見比べてみると違いがよく分かる。

松村教育長 技術・家庭（技術分野）については、B 者を継続して採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 英語について説明をお願いします。

選定委員 ー英語の説明ー

松村教育長 意見はあるか。意見がなければ、G 者を継続して採択するということでよろしいか。

委員一同 ー承認ー

松村教育長 以上で、議案第 22 号を終了する。

教育委員会事務局付課長 それでは、議案第 21 号及び議案第 22 号の採択結果の確認をする。

【小学校】

国語：光村，書写：光村，

社会：東書，地図：帝国，

算数：東書，理科：啓林館，生活：東書，音楽：教芸，

図画工作：開隆堂，家庭：東書，保健：東書，英語：開隆堂，

道徳：日文

【中学校】

国語：光村，書写：学図，

社会（地理的分野）：東書，社会（歴史的分野）：東書，

社会（公民的分野）：東書，地図：帝国，

数学：東書，理科：啓林館，音楽（一般）：教芸，音楽（器楽）：教芸，
美術：開隆堂，保健体育：大日本，技術：東書，家庭：東書，
英語：開隆堂

議案第 23 号 令和 2 年度使用特別支援学級の教科用図書の採択について
(個人情報を含む案件のため非公開)

松村教育長 これをもって本日の会議を終了する。